姥堂和やか結の会

令和８年１０月２９日発行　Vol.6
姥堂地区生活支援支え合い会議

本会は、身近な地域での支え合い、助け合いについて協議する場として、姥堂地区に住む福祉に関心のある方を中心に令和６年11月に設立されました。

年齢性別関係なく、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域全体で支え合う仕組みづくり、５年後１０年後の地域づくりを進めていきます。

「黒糖まんじゅう作り」

(R8.10.4(日)　参加者10名)

大塚先生を講師に迎え黒糖まんじゅうづくりを開催しました。先生が用意してくれた緻密なタイムスケジュールのもと参加者は生地を丸める工程にコツを掴もうと奮闘！ほかほかと湯気が立ち上がる蒸しあがったまんじゅうを目の前にすると大きな歓声があがりました。できたての味は格別です。さらに先生の計らいで炊き込みご飯も一緒に堪能し最後は皆さん「楽しかった！」と満面の笑みで帰路につきました。







しめ縄体験募集！

姥堂地区には○○名人がたくさん！
先生に教わりながら、自宅用の作品を作ってみませんか？



◆日　時　12月6日(日)9時～11時
◆場　所　姥堂地区公民館
◆講　師　小林千芳 様 大塚安孝 様
　　戸田公吉 様
◆参加費　300円(材料費等)
◆定　員　15名(先着順)
◆締　切　11月20日(金)
◆申込先　喜多方市社会福祉協議会
　　塩川支所　☎28－1254

地域の話題【おぼこ抱き地蔵】

高木集落の公民館敷地内に、赤ちゃんの顔を反対向きに抱っこした石像があります。

昔々、高木集落のお墓脇の細い道を若松から来た着物商人が通りかかった時、ざんばらと散らし髪の白い着物を着た女の人がスーッと出てきて「**おぼ抱きゃれ**」(髪を梳かす間この子を抱いていてください)と言うので、商人は怖くて震えながらも赤ん坊を抱いてあげた。女は鏡を持って髪を梳かし終えると、お礼を言ってスーッと消えてしまいました。その人は、最近、産後の肥立ちが悪くて亡くなったお母さんだったのです。後日、みんなで花と線香をもって墓参りをし、石像を建てて供養したそうです。



活動報告

別府いきいきサロン

9月の行事は「**喜多方消防署見学と昼食会**」署内見学に併せて防災講座を受講しました。日常生活で身に着け、持ち歩くスマートフォン、デジカメやコードレス掃除機、電動工具に使われるリチウムイオン電池製品を安全に使用、廃棄する際のポイントを教えていただきました。その後地区公民館に戻り昼食会開き、お茶飲み話で花を咲かせました。







防災講座
(リラックスしつつもしっかり伺ってきました)



姥堂地区の地域づくりのために話し合いや活動に参加してみませんか？
少しでもご興味のある方は、下記までお問合わせください。

お問合わせ：喜多方市社会福祉協議会塩川支所　石井　℡２８－１２５４